

平成31年度

事業計画書

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

平成31年度事業計画書

(自 平成31年4月1日～至 平成32年3月31日)

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団は、設立理念に沿って、真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）及び真庭市久世エスパスセンターの指定管理業務、真庭市立久世図書館においては真庭市からの業務委託による運営業務を行い、併せて、自主事業として、商業的の作成・放送、真庭市等からの受託業務、コーヒーショップの運営、なつかしの学校給食等を実施してきました。

平成30年度は、真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）部門では、FM告知端末の設置工事及び端末の切り替えに伴う管理体制を滞りなく進め、また、真庭いきいきテレビは、放送開始から10周年を迎えたことから記念番組などにより市民が主役の役に立つ自主放送を行いました。

真庭市久世エスパスセンター部門では、芸術性に優れた公演を鑑賞する機会を市民に提供するとともに、アウトリーチコンサートによる青少年の芸術文化向上を目的とした事業や夏休みの子どもの居場所づくりを目的とした地域貢献事業に取り組んだほか、ワークショップを通して芸術文化分野の人材育成を図る事業にも取り組みました。

真庭市立久世図書館部門では、図書館を身近に感じ、体験していただくことを目的に、名画鑑賞会や、読書ボランティア講演会、段ボールを使った工作のワークショップ、どうぶつしょうぎや百人一首の大会などを主催事業として開催しました。また、中央図書館開館に伴う業務の移行もスムーズに行うことができました。

さらに、財団が持つ特性を有効に融合させることにより、未来に向けて市民の誇りと可能性を最大限に引き出すことを可能にし、また、真庭市がモデル地域に選定されたSDGs未来都市が目指す「永続的発展に向けた地方分散」の達成に向けて、財団独自にすべての人が情報や文化に触れ、享受できる環境づくりや、真庭市を形成する各地域の未来を担う子どものための地域の個性を活かした社会づくりに貢献するためのビジョンを定めました。

（公財）真庭エスパス文化振興財団のビジョン

1. 誰も文化や情報から置き去りにされない社会の実現を目指します。経済・環境・文化が調和の取れた、心豊かで人間らしい社会の実現に寄与します。（持続可能な開発目標・SDGsの思想）
2. 市民一人ひとりが地域ごとの個性を活かし、さまざまな情報や文化を通して、地域の未来である子どもたちの生きる社会を創造する場と試みを提供します。
3. 情報や芸術文化を日々の暮らしに取り込み、提供することで市民の一体感を育みます。
4. 先人が産み、創り上げてきた文化や想いを受け継ぎ未来へつなぎます。
5. 市民のニーズに寄り添い、協働して新しい文化を創造し発展させます。
6. 財団の事業を融合し活用することにより新たな価値観や暮らし方を産み出します。
7. すべての部門が真庭いきいきテレビと連携して財団の事業を市民に広報します。

平成31年度、財団全体に共通する7つのビジョン、各部門においてもそれぞれが掲げるビジョンを確実に実行していくことにより、真庭の情報格差を是正し、真庭の文化や精神を人から人へと伝え、つなぐ媒体としての役目を果たします。また、市民の一体感を促進するため、市民一人一人が顔の見える関係を築き、真庭文化を創造し醸成することに寄与します。そして、新たな

暮らし方や仕事が生まれるきっかけを作ることにより潤いと活力ある地域社会の創造と発展に寄与します。

真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）部門は、施設・設備を確実に維持管理し、安定したサービス環境を提供するとともに利用者の増加を図ります。真庭いきいきテレビでは、自主放送を通じて市民と情報を共有し市民同士がつながり活動の輪を広げるコミュニティメディアの役割を果たします。併せてコマーシャル等の作成放送事業などの自主事業の拡充に取り組みます。

真庭市久世エスパスセンター部門では、エスパスセンターにおいては、施設を適正に管理するとともに、各種の助成金等を活用して芸術性に優れた公演を開催する等の鑑賞事業、子ども、青少年対象公演やアウトリーチ等による次世代育成のための事業、管弦楽団、合唱団、和太鼓教室の運営や地域の文化・芸術活動助成事業を活用した地域の芸術文化活動を担う人材の育成事業などに取り組みます。旧遷喬尋常小学校においては、一般への公開と、真庭市が進める校舎の整備・活用検討の議論の進捗に沿って文化財の保存と活用を図ります。また、コーヒーショップの運営、なつかしの学校給食、真庭市からの受託事業等の自主事業の充実を図ります。

真庭市立久世図書館部門では、利用の促進を図るとともに、利用者の知的欲求に応えられるよう資料の収集、保存と提供に努めるとともに、各種の主催事業を開催します。これらの活動を通して、子どもの読書習慣の醸成や読書の楽しさ、有用性の浸透の推進に取り組み、本の香りのする真庭を目指します。

1. 真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）部門

真庭市地域情報化施設は、財団で策定したビジョンに沿って、「真庭ライフスタイル」を実現するため、真庭ひかりネットワークの保守管理と、自主企画番組の制作をはじめとしたケーブルテレビ運営事業に取り組みます。



平成31年1月には開局10年を迎えたことから、ドラマを特別番組として市民の皆様と一緒に制作します。また、マスコットキャラクター「みとすけ」の10周年記念バージョンを制作し、ニュースや番組内に登場させ、親しみの沸く放送局作りを進めます。

<真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）のビジョン>

[施設・設備の維持管理、加入者管理部門（保守管理課）]

- ①施設・設備を正確かつ適正に保守し、情報インフラとしての機能を確保します。
- ②協力会社等と良好な連携や協力関係を維持し、障害時は速やかに復旧します。
- ③真庭市全域に整備された光ファイバ網（情報化施設）が持つ先進性と特徴を市民と共有し、新たな活用方法を全国に向けて発信します。

[真庭いきいきテレビ]

- ①真庭で起きている重要な事実を市民に伝え、その意味や価値を伝えます。
- ②情報格差の是正に寄与します。
- ③行政情報をはじめ、地域の年中行事や特徴的な取り組みなど、市民が希望を持ち、未来を創造していくための情報を取材し発信します。
- ④市民が参加し、愛し、支えてくれる、市民とともに作り上げるテレビ局、新たなコミュニティや文化の創造を喚起する『真庭市民のためのメディア』を目指します。
- ⑤若い世代が出演する番組、共に制作する番組などを通して、市民が誇りと自信をもち、「住みたい、育てたい、働きたい」真庭市を創ることを目指します。
- ⑥インターネット配信やデジタルサイネージ¹等を活用するとともに、スマートフォン等により、市民が真庭いきいきテレビと繋がり、身近で関わりやすいテレビ局になることを目指します。
- ⑦性別や世代、地域を超えたつながりを促進し、市民生活やコミュニティ、真庭の文化やビジネスに動きを起こすことを目指します。課題を共有し解決の糸口をなる、地域コーディネータの役割を担います。

※1「デジタルサイネージ」

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアの総称のこと 「出典：（一社）デジタルサイネージコンソーシアム」

公1. 地域情報化の推進に関する事業

【施設の設置目的】

- 「農業生産の近代化と地域住民の連帯意識の高揚、住民福祉の向上」を目的とし、第3次真庭市情報化計画の基本理念「『モノ』から『ひと』へ」を実現するための基盤を目指す。
- 真庭市に暮らす「ひと」が情報を共有し、真庭の価値に気づき、高めあう「ツール」を目指す。
- 「コミュニティメディア」として施設を活用した「放送コンテンツ」の充実、発信により「ひと」「まち」「市役所」を繋ぐ役割を担い、「真庭ライフスタイル応援サービス」の実現を目指す。

1. 事業概要

【真庭ひかりネットワーク主要事業】

- (1) 真庭ひかりネットワーク施設、設備の維持管理・運営手法、体制の確保及び、危機管理対応などによる安定したサービス提供環境の構築
- (2) 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送サービスの同時再放送
- (3) コミュニティメディアとして持続可能で安心・安全なまちづくりへの寄与
- (4) 各種申請受付、利用料金の収納、適切な加入者データベースの更新、変更など、正確で公平・校正な加入者管理
- (5) 真庭ひかりネットワーク施設利用者の増加＝ケーブルテレビ加入者の増加を図ること

2. 主要事業計画

(1) 真庭ひかりネットワーク施設、設備の維持管理・運営等（施設の保守と加入者管理①、②）

真庭市地域情報化施設は、情報の入手、発信など市民生活を支えるインフラであり、かつ、真庭ライフスタイル応援サービスを実現するための重要な基盤、ツールであることを認識し適正な維持管理、運営を実施します。

また、NTT フィールドテクノをはじめとする専門機関と良好な関係を構築し、必要な保守体制を築きます。

ア. 設備、設備の維持管理

(ア) 日常・定期点検の実施（主な点検）

| 実施概要 | 実施時期 | 補足 |
|------------------------|--------|----|
| 日常的な設備自主点検の実施 | | |
| テレビ受信レベル測定（局舎、寺畑山受信点） | 毎日 | |
| ヘッドヘッド室温度測定 | 毎日 | |
| 機器アラーム目視点検 | 毎日 | |
| 定期点検の実施 | | |
| 各サブセンター点検（市内7箇所） | 1回/2ヶ月 | |
| 寺畑山受信点点検 | 1回/月 | |
| 真庭市地域情報化施設本部施設年次点検 | 1回/年 | |
| 寺畑山受信点電線路点検 | 1回/2ヶ月 | |
| 寺畑山受信点配電線路点検および点検道路草刈り | 1回/年 | |
| 自主放送サーバ等定期点検 | 1回/月 | |
| 自主放送サーバ等年次点検 | 1回/年 | |

(イ) 監視体制の構築

FTTH 監視システム等を活用し、主要設備の 24 時間 365 日監視体制を構築

(※) FTTH 監視システム

光ファイバ網やサブセンター設置設備等の監視を行うシステム。機器の閾値異常時や死活確認が出来ない場合等に、異常を知らせるメールを発報するシステム

(ウ) 専門機関との保守契約

専門機関と保守契約を締結し、障害発生時でも速やかに復旧対応が出来る体制を構築

【主な保守、業務委託契約】

| 概要 | 委託先 |
|---|---------------------------------|
| 市内全域に張り巡らせた光ファイバケーブルの保守 (IRU 設備運用保守契約) | NTT 西日本 |
| 自主放送設備、データ放送、編集機器等の保守契約 | パナソニック NHK アイテック メディアキャスト |
| 加入者宅テレビ受信異常時の調査、修理委託契約 | 電商真庭支部 |
| 発電機や受信点への電源ルートの点検業務委託契約 | 中国電気保安協会 |

(エ) その他

日常的に清掃や修繕業務に取り組み、施設の美観維持、保全に努めます。

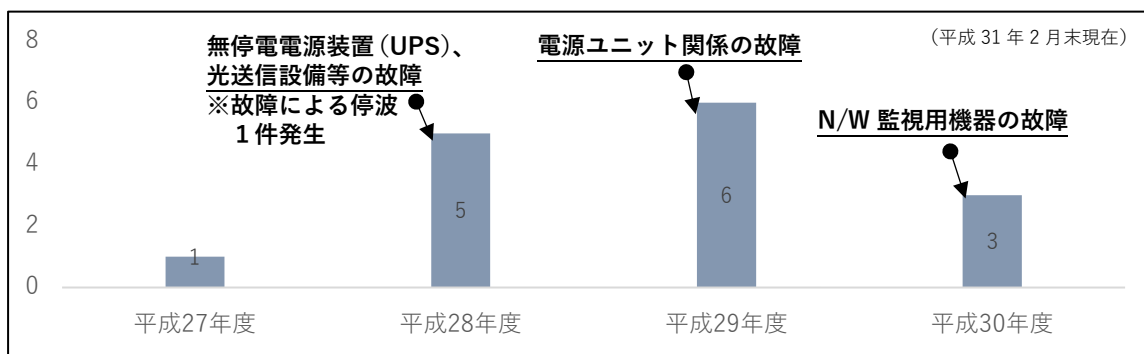
イ. 計画的な設備更新

加入者に対して安定的なサービスを提供するための基盤強化として、平成 31 年度は次に示す設備の更改を予定しています。

【平成 31 年度更改予定設備】

| 設備概要 | 対象拠点 | 補足 |
|------------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| 光送信設備 (S AMP、16 ポート光アンプ等) | 久世サブセンター | 更改後、旧設備は各 SC の予備機として流用予定 |
| 無停電電源装置 (UPS) | 久世サブセンター 北房サブセンター 美甘サブセンター | 保守用バイパスユニットの設置含む |
| N/W 監視機器 (メディアコンバータ) | 本部施設 (局舎) 各サブセンター | |

【参考：経年劣化と想定される設備故障件数の推移】



ウ. 事業継続計画書（BCP）に基づく危機管理対応訓練

真庭市の公共放送を担う指定管理者として、災害発生時こそ施設の機能を維持し、必要な情報を市民へ提供することが果たすべき役割です。

この役割を果たすため、災害発生時にもサービスを提供することができ、且つ、運用レベルを早期に災害前までに近づけることを目的に、事業継続計画書に基づいた、危機管理対応訓練を実施します。

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 概 要 | 真庭市地域情報化施設 危機管理対応訓練 |
| 指 標 | 1回/年（訓練の実施と訓練をもとにしたBCPの改善サイクルの確立） |
| 担 当 | 報道制作課、保守管理課合同で実施 |

※BCP については策定後の訓練と改善が重要であると考え、「CAPD サイクル」により継続的に取り組むこととする。

(2) 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送サービスの同時再放送

市内全域をエリアとして、次の再放送サービスを実施します。

ア. 地上デジタルテレビジョンの同時再放送

- ・NHK 総合
- ・NHK 教育（E テレ）
- ・西日本放送
- ・瀬戸内海放送
- ・山陽放送
- ・テレビせとうち
- ・岡山放送
- ・サンテレビ

※区域内放送：7局

※区域外放送：1局

イ. 有線ラジオ放送サービスの同時再放送

- ・NHK-FM
- ・FM 岡山
- ・NHK 第一 [AM→FM 変換]
- ・山陽放送 [AM→FM 変換]

(3) コミュニティメディアとしてのデジタルテレビジョン自主放送

(真庭いきいきテレビ①～⑦)

真庭いきいきテレビの最大のサービスは「コミュニティチャンネル（自主放送）」です。持続可能な町づくり、安心・安全な町づくりを進め、「真庭ライフスタイル」を実現できるよう、市民と情報を共有し、市民同士が繋がり活動の輪を広げてコミュニティチャンネルの更なる充実を図り、真庭市のコミュニティメディアの役割を果たします。

ア. メインチャンネルの放送（真庭いきいきテレビ①、③、④、⑤、⑦）

(ア) ニュース、自主制作番組

【制作方針】

- ・真庭市のコミュニティメディアとして、市民に必要なもの、今、記録すべきものを伝える役割を担う放送
- ・地域や世代を隔てる壁を取り除き、市民一人一人の繋がりを生み、地域への帰属意識や愛着を作り出すとともに、地域活性化を担う放送
- ・地域の課題を見つけ出し、解決の糸口や多くの市民が考えるためのきっかけをつくる役割を担う放送

【放送時間等】

- ・ ニュース番組
→ 150分以上/週



- ・自主制作番組
→ 20番組以上/月



イ. 生中継番組（真庭いきいきテレビ①、④）

生中継番組は現場と視聴者を繋ぎ、テレビ放送の価値を高める重要なコンテンツです。MIT では、1回/月以上の頻度で生中継を実施し、現場の臨場感を視聴者へ届けます。



ウ. コミュニティチャンネル放送内容の充実（真庭いきいきテレビ②、③、④、⑤）

(ア) 市民参加型の番組作り

視聴者や市民が主体的にメディア（真庭いきいきテレビ）に参加する「パブリック・アクセス（視聴者が制作）」を働きかけ、市民が真庭いきいきテレビを活用して情報発信や交流を行う「人・情報が集う場作り」に取り組みます。

| | |
|-----|--|
| 指 標 | MIT の視聴頻度：週 4 日以上見る人の割合の増加 ※H30 年度アンケート結果：28.1% |
|-----|--|

《映像アーカイブ》

| | |
|-----|--|
| 事業名 | 市民が持っている古い真庭の映像や写真をデジタル化し保管する。 これらの映像等を使いながら今と昔を比較しこれからの真庭に向けた番組を制作 |
| 期限 | デジタル化は平成 31 年度から市民に呼びかけ募集を行い続的に実施 |
| 担当 | 報道制作課 |

《10 周年記念番組》

| | |
|-----|--|
| 事業名 | ・市民が主役のドラマの制作 ・子どもが進行役を務め、SDGs について分かりやすく伝える番組の制作 |
| 期限 | ・「市民が主役のドラマ」は 10 月完成、10～12 月放送予定 ・SDGs 関連の番組は 4 月から放送 |
| 担当 | 報道制作課 |

《市民との繋がり》

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 事業名 | 視聴者投稿ビデオの募集と放送（パブリック・アクセス ch の開設検討） |
| 期限 | LINE 公式アカウント等を使い募集予定 |
| 担当 | 報道制作課 |

(イ) 新しく導入されたデータ放送の活用

平成 31 年度から更新される「データ放送システム」と「河川監視システムのライブカメラ」を最大限に活かし、市民の安心・安全を守るため、更なる緊急放送の充実を図ります。

【想定されるメリット】

- ・災害情報をはじめ、お悔やみ情報やごみ収集情報等、市民生活に密着した情報をタイムリーに真庭いきいきテレビ放送画面に表示など
- 例) 緊急時に L 字画面表示で災害情報や避難に関する情報を表示など

- ・河川、道路監視ライブカメラ映像と連動し、避難判断の情報源として活用
例) 災害時河川監視システムのライブカメラの映像を入れた生放送など

エ. その他

下記に示す業務は、従前通り実施します。

- ・サブチャンネル (122ch)
- ・データ放送
- ・テロップ送出 (緊急情報、気象情報など)
- ・情報収集
- ・番組表の作成と配布
- ・コンテンツ権利保護
- ・加入者向けアンケートの実施 (1回/年)

(4) 各種申請受付、利用料金の収納など、確実かつ公平・公正な加入者管理

(施設の保守と加入者管理①～③)

真庭市地域情報化施設の設置及び管理に関する条例、同施行規則や個人情報保護法等の関係法令を遵守し、確実に公平・公正な加入者管理を実施すると共に、関係法令の整備、改正等が行われた場合は、速やかに必要な対応を実施します。

ア. 主たる業務内容

| 業務概要 | 平成 31 年度目標 |
|--------------------------------|------------|
| 真庭ひかりネットワークの加入申請等の受理及び承認に関する業務 | 従前とおりに実施 |
| 真庭ひかりネットワークの脱退及び休止に関する業務 | 〃 |
| 真庭ひかりネットワークの利用停止及び加入の取り消し業務 | 〃 |
| 加入者管理業務 | 下記参照 |
| 利用者対応及び加入促進業務 | 〃 |
| 利用料の収納業務 | 〃 |

(ア) 加入者管理業務

| | |
|-----|--|
| 概 要 | FM 告知移行に伴い、管理すべき加入者情報やデータベースが増えたことから、運用マニュアルを再整備するもの |
| 期 限 | 平成 31 年度第一四半期 |
| 指 標 | 運用マニュアルに沿った加入者管理を行い、加入者データの整合性が常に図れている状態 |
| 担 当 | 保守管理課 |

(イ) 加入促進業務

真庭市地域情報化施設が「ひと」「まち」「市役所」を繋ぐためには、多くの市民・団体がケーブルテレビに加入し、真庭市の価値について共有し、情報を発信、交流していくことが重要と考え、施設効用の最大化を図るため、加入促進に取り組みます。

a. 積極的な営業活動の実施

| | |
|-----|---|
| 概 要 | 新築建築中の施主、施工会社、分譲地の管理会社に対して訪問営業活動を行うもの ・加入案内、利便性説明用パンフレット作成 |
| 期 限 | 年間継続事業 |
| 指 標 | 目標加入率：50% (営業実施に対する加入率) |
| 担 当 | 保守管理課 (工事担当職員で実施予定) |

| | |
|----|---|
| 概要 | 未加入者宅を訪問し、真庭いきいきテレビの利便性をPRすると共に加入営業活動を行うもの ・PR用動画の制作 ・加入案内、利便性説明用パンフレット作成 |
| 期限 | 年間継続事業 |
| 指標 | ・訪問目標数：200戸 ・目標加入件数：10戸 |
| 担当 | 保守管理課（輪番制にて実施予定）、報道制作課（PR動画） |

b. 外部団体との連携

真庭市には年間約700～800人の転入者がいることから、真庭市交流定住センター内に、加入案内パンフレット設置や放送内容のMIT視聴ブースの設置について協議し、転入者向けのPRを図ります。

c. 市民とのコミュニケーション強化

市内各地で開かれるイベント会場等へ出向き、放送内容の紹介や加入に関する相談、未加入者の声などを拾い上げる「出張なんでも相談会」を開催し、市民の方々の要望に耳を傾けます。

| | |
|----|---------------------------------------|
| 概要 | 「出張なんでも相談会」の開催 |
| 期限 | 年間継続事業 |
| 指標 | ・なんでも相談会の開催：3回/年 ・ブースへの来場者数：70名/3回 |
| 担当 | 報道制作課、保守管理課 |

平成31年度末加入率目標：74.0%（加入件数：13,100件）

※平成30年度1月末現在

世帯数：17,746世帯 加入数：12,981件 加入率：73.1%

※平成31年度末予測世帯数：17,700世帯

(5) その他

ア. 職員のスキルアップ

- 各種研修会、セミナーへの参加：
延べ人数5名以上/年
- CATVエキスパート資格の取得：2名



イ. ホームページによる加入申請等の受付環境準備

真庭ひかりネットワークの加入申請等、現状は紙媒体が中心となっているが、利便性向上の一環として、ホームページから申請ができる仕組みを構築する。

[ホームページからの申請（予定）]

- ・新規加入申請
- ・脱退/廃止届

ウ. 申請書類に関する文書管理規定の作成とペーパーレスの推進

加入者からの申請書類等に明確な文書管理規定を設けると共に、規定に従い不要な書類の廃棄やデータ化を推進する。

エ. 他ケーブルテレビ局との連携・交流

県内外のケーブルテレビ局と良好な関係を構築・維持し、真庭市内の催しや取り組みの情報発信、加入者への市外・県外の催し情報等の提供を行うほか、職員同士の情報交換や交流を通じて技術の研鑽を行う。



収 1. テレビコマーシャル等の作成放送事業

1. テレビコマーシャル作成放送(真庭いきいきテレビ④)

現在のコマーシャル料金(制作・放送)や媒体などについて市内企業のニーズを調査し、料金の最適化や広告媒体の多様化に取り組み、真庭市内での経済循環と広告料の増収を図ります。



他 1. その他市からの受託事業

1. 告知関連事業(告知管理・保守事業、告知設置事業)

新規加入者に対する行政情報告知端末の設置工事や、端末の管理、放送録音の3業務に加え、平成31年度からは、告知端末の保守業務を実施します。

2. ITヘルプデスク事業

真庭市の庁内システム及び庁内ネットワークに関する、市職員からの問合せに対応し、システム等利用者の問題解決、システム、ネットワークの利活用を図るためのサポート事業です。

3. 広報真庭一部作成事業

「広報真庭」の『読者の広場』、『ぐるっと真庭まちの話題』、『裏表紙』等、計7ページ分を取材・制作する事業です。

その他 平成31年度検討事項

1. 真庭ひかりネットワーク等を活用した自主事業の検討(施設の保守と加入者管理③)

外部団体(日本ケーブルラボへの加入を想定)が研究する技術情報を有効活用し、真庭ひかりネットワークを活用した新事業(収益目的や地域課題解決等の公共性の高いもの)の調査・研究を推進する。

2. JA統合に伴う影響調査と対応

2020年4月に予定されている岡山県内のJA統合に向けて、情報収集と必要な対応を実施する。

→ 真庭ひかりネットワーク利用料等の収納事務、契約、見直しに関すること

→ 印刷物の修正等

2. 真庭市久世エスパスセンター部門

真庭市久世エスパスセンター部門においては、「情報と文化と交流がいつでも体感できる環境づくりを基本理念として、音楽、演劇等の鑑賞機会の提供及び芸術文化活動の振興を図り、もって地域文化の向上に寄与する」という真庭市久世エスパスセンター設置条例の設置目的に則って、真庭市における文化の薫り豊かな潤いと活力ある地域社会の創造と発展に寄与する管理、運営を行い、真庭の芸術文化を育て未来につないでいくことを目標とします。この目標を達成し、真庭市が持続可能な地域であり続けるよう貢献していくため、平成30年11月、将来に向けたビジョンを策定しました。

<真庭市久世エスパスセンターのビジョン>

- ①「文化の世界標準」の視点から、真庭市の人や団体等と情報を共有しながら文化を育て、質の高い文化の体験と真庭の文化資源を融合させ、さらに、次世代に引き継いでいくことを目指します。
- ②市民間交流や次世代の真庭人の育成に寄与し、市民と協働する仕組みの構築を目指します。
- ③地域の未来を担う若者が自由に活動し、表現し、発信することにより、地域の個性や特徴を発見し、自身の夢と暮らしを生み育てていく場としての役割を果たします。
- ④地域ニーズ、意見、希望を取り入れながら、だれもが気兼ねなく交流できる場であり続けます。
- ⑤音楽や演劇など様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、真庭市の文化の向上を目指します。
- ⑥あらゆる世代の芸術文化への関心や興味を育てます。
- ⑦音楽以外の分野にも積極的に取り組み、芸術文化の必要性の実感・理解の醸成を進め、文化の薫り豊かな潤いと活力ある地域社会の創造と発展を目指します。



エスパス第九演奏会

公2 芸術文化の振興に関する事業

本事業は、真庭市において、人を育て、夢を育み、文化の薫り高い豊かなまちづくりを推進するため、優れた音響性能を持つホールとして評価の高い「エスパスホール」を中心に、質の高い芸術文化公演等、魅力的な催しを財団、または、財団と地域とが協働して企画し開催することにより、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するとともに、真庭市の芸術文化水準向上の基盤づくりに向けた次世代の人材を育成し、また、市民が主体となって参加する創作活動の場や機会を提供する事業です。



ミュージカル Vivo エスパス公演

1. 事業の構成

- (1) 芸術文化鑑賞事業・・・(市民への文化芸術鑑賞機会の提供事業)
- (2) 芸術文化次世代育成事業・・・(次世代育成事業)
- (3) 芸術文化普及・支援事業・・・(創作活動の機会の提供事業)
- (4) その他の事業・・・(地域の賑わい貢献事業)
- (5) 上記を実施するための施設の管理運営

2. 各事業の内容

(1) 芸術文化鑑賞事業・・・(市民への文化芸術鑑賞機会の提供事業)

ア. 芸術性に優れた公演事業 (エスパス①、⑤、⑥)

芸術性に優れた、様々なジャンルにおけるプロを招聘して公演を開催し、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供します。

今年度の主な事業としては、希少な鑑賞機会となっている有森博ピアノリサイタルや国指定重要文化財である旧遷喬尋常小学校の講堂を使った2回目の事業として、ピアノとヴァイオリンによるコンサート。真庭市・旭川荘・瀧井敬子共同事業として、三宅理恵(ソプラノ)のCDを制作し、併せて記念コンサートを開催するとともに、三井住友海上文化財団の助成を受けて、邦楽四重奏団のコンサートを開催します。

また、出演料や実施時期等の条件が整えば、中高年層に根強い人気を持つ歌手(出演者、時期共に未定)のコンサートの勝山文化センターでの開催。およそ隔年で開催している土広場を会場とする野外ライブを開催します。

○有森博ピアノリサイタル

○佐野隆哉(ピアノ)、相川麻里子(ヴァイオリン) 旧遷喬尋常小学校講堂コンサート

○邦楽四重奏団が織りなす「江戸時代の室内楽」(三井住友海上文化財団助成事業)

○三宅理恵(ソプラノ)、佐野隆哉(ピアノ)によるコンサート

(真庭市、旭川荘、瀧井敬子、エスパス共同事業とし、CD録音、アウトリーチも実施) 等
出演料や実施時期等の条件が整えば開催する事業

○中高年層向けコンサート(出演者、時期未定) 会場：勝山文化センター(予定)

○エスパス野外ライブ2019(出演者、時期未定) 等



旧遷喬小学校講堂コンサート

イ. 映画上映 (エスパス①、⑤、⑥、⑦)

公開される作品に応じて、年に数回の上映を予定します。

- ウ．地域と協働した地域のシンボルに相応しい発信性のある事業（エスパス①、②、③、④、⑤、⑥）
 地域の個人や団体等と協働して、地域に相応しい発信性のある事業を企画し、実施します。
 ○夏彩和太鼓フェスティバル 等

(2) 芸術文化次世代育成事業・・・・・・・・(次世代育成事業)

- ア．次世代育成のための楽団・教室等の運営（エスパス①、②、③）

真庭市の芸術文化水準を向上させるための基盤づくりとして、積極的に次世代の人材育成に取り組み、それぞれの成果の発表の場を設けます。

- エスパスオリジナルス（少年少女合唱団、和太鼓クラブ、ジュニアオーケストラ）の運営

- イ．子ども、青少年対象公演（エスパス①、⑤、⑥）

子どもや青少年を対象とした気軽に芸術文化に親しむことができる公演を開催します。真庭市の子どもたちの心豊かな情操を育むため、「小中学校へのプレゼントコンサート」や「幼児対象コンサート」などを実施し、子どもたちの芸術文化に対する興味を引き出します。

- 市内小中学校へのプレゼントコンサート
 （岡山フィルハーモニック管弦楽団コンサート）
- たにぞう手あそび歌あそび音楽会
- 岡山フィルハーモニック管弦楽団による「親子コンサート」
 （真庭市、岡山シンフォニーホール、エスパス連携事業） 等



たにぞう手あそび歌あそび音楽会

- ウ．芸術文化アウトリーチ（エスパス①、⑤、⑥）

真庭市内の小中学校にアーティストを派遣して、質の高い演奏会やワークショップなどを行うことによって、次世代の育成を図る、芸術文化アウトリーチ事業に取り組みます。なお、この事業は真庭市からの受託業務として行います。

- アウトリーチ企画・運営業務
 （年間11回程度を予定）



BUZZ FIVE アウトリーチコンサート

- エ．ワークショップの開催（エスパス①、②、③、⑥）

子どもたちに音楽の楽しさを体験してもらい、芸術文化への関心や興味を引き出すワークショップとしてエスパスオリジナルスフェスタを開催します。合唱、和太鼓、ヴァイオリン、コントラバスを体験し、真庭市の音楽文化の向上を図ります。3歳から幼稚園までを対象としたワークショップと、小学生以上を対象とした2日間のワークショップを開催します。

- エスパスオリジナルスフェスタ



エスパスオリジナルスフェスタ

オ. 市内小中学生を対象にしたジュニアシートの実施（エスパス①、②、⑤）

次世代の真庭人である真庭市内の小中学生を対象に、芸術文化の普及および鑑賞者育成を目的としたジュニアシートを実施します。ジュニアシートは、希望する小中学生が、無料もしくは高校生以下料金の半額程度で鑑賞できるようにする座席で、指定する主催事業の客席最後部、バルコニー席の概ね50席以内とします。

カ. 「夏休み絵と歌をガンバリ隊 IN エスパス」等の開催（エスパス②、④、⑦）

音楽以外の分野の取り組みとして、引き続き地域貢献の一環として地域課題に取り組みます。小学校や公民館と連携した「夏休み絵と歌をガンバリ隊 IN エスパス」を開催し、子どもたちの夏休みの宿題の絵画と自由課題を地域のボランティアの方と一緒に応援し、市民と協働する仕組みも作ります。

また、中高生等の職場体験や社会見学等を積極的に受け入れます。



夏休み絵と歌をガンバリ隊
IN エスパス

(3) 芸術文化普及・支援事業・・・(創作活動の機会の提供事業)

ア. 管弦楽団、合唱団等の運営（エスパス①、②、③、⑥）

地域の芸術文化の普及と支援を目的に、専門の講師を選任して、管弦楽団、混声合唱団、第九合唱団を運営するとともに、技術向上を目的とした弦楽教室を開催し、その成果を発表する場として定期演奏会等を開催します。

- エスパス管弦楽団 第16回定期演奏会
- エスパス合唱団 第18回定期演奏会
- エスパス管弦楽団ニューイヤーコンサート
- エスパス第九演奏会 等

イ. アマチュア団体等の支援（エスパス①、②、③、④、⑤、⑥、⑦）

市内に拠点を置くアマチュア団体等に対して、主催、共催、後援等により、公演または作品の発表機会を提供します。主催事業では、本格的な音響、照明のステージ等を出演者と協働して作り上げることで、やりがいや満足感を感じてもらい、芸術文化活動の継続や発展に繋がるようサポートします。また、真庭市出身の若いアーティストを支援します。

- 宮坂流銭太鼓 エスパス公演（主催）
- Espace Fun Space festival（主催）
- 早川太鼓 エスパスの陣（主催）
- ダンスクラブVIVO第1回発表会（共催）
- 県北合唱フェスティバル（共催） 等



早川太鼓エスパス公演

ウ. 地域の文化・芸術活動助成事業「研修プログラム」（助成事業）（エスパス①、②、③、⑦）

今年度に引き続き、(一財)地域創造の助成事業、地域の文化・芸術活動助成事業「研修プログラム」に、人材育成を目的とする「真庭の文化を考える」(仮称)が採択され、年間を通してワークショップを開催します。これにより、公立文化施設等の企画、運営に携わる人材や「地域文化コーディネーター」など地域の芸術文化活動を担う人材のスキルの向上などを目指します。

- ワークショップ「真庭の文化を考える」

(4) その他の事業・・・・・・・・・・(地域の賑わい貢献事業)

ア. 館内フリーマーケット、空間コンサートの開催 (エスパス②、③、⑦)

エスパス全館を使用して、館内フリーマーケットを開催します。同時に、アマチュア団体等の発表の場として空間コンサートを開催します。また、土広場、旧遷喬尋常小学校を会場として活用するまにわハンドメイドマルシェを昨年に引き続いて開催します。

○エスパス館内フリーマーケット・空間コンサート

○まにわハンドメイドマルシェ 等



まにわハンドメイドマルシェ

(5) 施設の管理運営

ア. 施設及び設備の維持管理

市民に安全に安心して利用してもらうため、施設、設備の日々の巡視点検や、特殊設備の専門業者による点検、維持管理を行います。

また、清潔な管理運営を心がけ、快適な施設を提供するとともに、美観の維持に努めます。

イ. 利用者の安全

利用者の安全を確保するため、自然災害等が発生した場合の対応マニュアルを整備し、避難訓練、AED研修会等を定期的に行います。また、エスパスセンターは真庭市の避難所に指定されており、災害時等の施設利用の協力に関する協定を締結し、万一の事態に備えます。

ウ. 個人情報保護

個人情報は、「真庭市個人情報保護条例」「真庭エスパス文化振興財団個人情報保護規程」並びに関係法令に則り適切に取り扱います。

エ. その他管理運営に関し必要な業務

利用者等の意見反映のためアンケートを取るなど、市民の声を取り入れるとともに、各種研修会等に参加し、職員のレベルアップを図ります。

また、公益法人として、「受益の機会が一般に開かれていること」を基本とし、積極的に広報活動に取り組みます。また、情報の発信基地として、エスパスホワイエに、県内外の各地域のチラシ・ポスターなどを設置し、利用者が観光や、イベント等の情報が得られるようにします。

関係法令に基づき、適切に情報を公開します。

省エネの推進、補助金や助成金の獲得、事務の効率化等、経費の抑制に取り組みます。

公3 文化財の保存・活用に関する事業

本事業は国指定重要文化財である「旧遷喬尋常小学校」の保存と活用を図り、もって芸術文化の振興と地域活性化を目的とする事業です。

1. 事業の構成

- (1) 施設の維持管理
- (2) 一般見学のための公開

2. 各事業の内容

(1) 施設の維持管理

ア. 施設及び設備の維持管理（旧遷喬①、②、③、④、⑤）

管理を担当する職員を配置し、日常の点検、清掃等を行い、施設の維持、保全及び見学者の安全を確保するとともに、毎月一回、ボランティアの協力を得て行っている清掃等の活動「大掃除の時間」を継続して実施し、参加者の文化財保護の観点の定着、育成に役立っています。

また、真庭市が行っている旧遷喬尋常小学校校舎整備・活用検討委員会の議論に沿った維持と管理に努めます。

修繕の必要箇所等が生じた場合は市の文化財担当者との協議し、適切に対処します。

(2) 一般見学のための公開

ア. 見学のための施設の公開（旧遷喬①、②、③、④、⑤）

旧遷喬尋常小学校ボランティアクラブの協力を得て一般に公開し、見学者等への案内や解説を行い、重要文化財の歴史や建築様式等を伝え、その魅力に触れていただきます。また、市外からのバスツアーなどに対応していきます。

施設の利用申請があった場合は、国指定重要文化財に指定されている意義を尊重し、適切に利用されるよう取り組みます。

館内の展示、来館者の導線の有り方など、利活用の方策についても継続して検討し、所管課と連携をとりながらこれを実施していきます。

収2 公益目的以外の施設貸与事業

本事業は、エスパスセンターに備わっているホール、会議室等の諸室を、条例に基づいて一般市民、企業、団体に貸し出す事業です。

1. 事業の構成

- (1) 施設の貸与

2. 事業の内容

(1) 施設の貸与

ア. 施設の貸与（エスパス②、③、④）

財団が運営しているエスパスセンターは、ホール、会議室等の諸室を備えており、条例に基づいて一般市民、企業、団体を対象にした施設貸与事業を行います。

所管課の了解のもと、適切な割引制度を設けて利用促進を図ります。

収3 コーヒーショップの運営事業

エスパスセンター来館者を対象にコーヒーや軽食等を提供する喫茶「花水木」を運営し、憩いと交流、芸術文化への関心や興味を育てる場により潤いと活力のある地域社会の創造と発展に寄与します。

1. 事業の構成

- (1) 喫茶「花水木」の運営

2. 事業の内容

(1) 喫茶「花水木」の運営

- ア. 喫茶「花水木」(エスパス④、⑦)

喫茶「花水木」では、来館者にコーヒーや軽食等を提供し、憩いと交流、芸術文化への関心や興味を育てる場を提供します。また、市内の有志が毎月開催している「うたごえ喫茶」を支援します。

他1 その他市からの受託事業等

本事業は、前記までの公益目的事業、収益目的事業に該当しない事業で、財団の設立目的から逸脱しない事業や、真庭市からの受託により実施する事業とし、平成31年度は、以下の5事業に取り組みます。

1. 事業の構成

- (1) 給食事業
- (2) 物販事業
- (3) 旧遷ガイド・制服貸与事業
- (4) 真庭市からのアウトリーチ事業
- (5) その他真庭市から受託する事業

2. 各事業の内容

(1) 給食事業

- ア. なつかしの学校給食(エスパス①、②、③)(旧遷番①、②、③、④、⑤)

市民ボランティア団体「まにワッシュョイ」と協働して4月から6月及び10月、11月の5か月間「なつかしの学校給食」を開催し来館者に提供します。開催は、原則、期間中の土曜、日曜、祝日とし、20人以上の団体は、平日でも開催可能とします。

平成31年度は、旧遷番尋常小学校の活用の観点から、年間10回程度、学校給食の後に唱歌等を歌う「音楽の授業」を組み込んだ特別メニューの学校給食も開催するよう計画します。特別メニューの実施に際しては、事業費の一部に真庭市の補助金を見込みます。



なつかしの学校給食

(2) 物販事業

ア. 旧遷喬尋常小学校での物販（エスパス①、④、⑦）（旧遷喬⑤）

旧遷喬尋常小学校は、年間約2万人が来館しており、お土産品の販売の要望が数多く寄せられていました。このため、旭川荘真庭地域センターに製作を依頼し、障害者支援も目的の一つとした、独自デザインの木製キーホルダー等を製作し、また、CLTチョコレートやペレットクッキー、高瀬船羊羹など真庭市を代表する物品を集めて販売しています。

また、来館者向けにコーヒー等の販売も行っていますが、真庭市は、管理人室の東隣の教室を休憩スペースとして活用する意向を持っていることから、この教室にも飲料の販売機を設置するよう計画しています。

(3) 旧遷ガイド・制服貸与事業

ア. 旧遷喬尋常小学校館内ガイド・制服貸与（エスパス①、④、⑦）（旧遷喬①、②、③、④、⑤）

今年度、主として旧遷喬尋常小学校ボランティアクラブが担ってきた団体来館者への館内ガイドと、学生服の貸し出しを有償化しました。

館内の有料ガイド回数及び学生服の貸出回数は、平成31年1月末現在で、それぞれ、99回、1095回となっています。このため、平成31年度も継続して実施します。

(4) 真庭市からのアウトリーチ事業

ア. アウトリーチ事業（エスパス①、②、⑤）

文化芸術次世代育成事業の一環として、真庭市から受託することにより、小中学校へアーティストを派遣して質の高い演奏会や参加型のワークショップなどを行う、芸術アウトリーチ事業に取り組みます。今年度は、11回程度を予定しています。

アウトリーチのアーティストとして、

- 佐野隆哉（ピアノ）、相川麻里子（ヴァイオリン）、
- 三宅理恵（ソプラノ）、佐野隆哉（ピアノ）
- 須川展也（サクソ）、小柳美奈子（ピアノ）
- 中川賢一（ピアノ）、加藤直明（トロンボーン）

を予定しています。

(5) その他真庭市から受託する事業

ア. その他の受託事業（エスパス①、②、③、④、⑤、⑥、⑦）

真庭市からのアウトリーチ事業を除く事業等を受託し、真庭市の芸術文化の向上に寄与します。

【H31年度 真庭市久世エスパスセンター実施事業計画書】

| | 時期 | | | 文化事業名 | 内容 | 種類 | 主催・共催の別 |
|----|------|--------|-----|---|--|---------|---------|
| | 月 | 日 | 曜日 | | | | |
| 1 | 4月 | 7日 | 日 | Dance club VIVO第一回発表会 I am Dancer | (主催)Dance club VIVO 真庭市子どもミュージカルグループ「Vivo」がダンスグループになり、初の公演。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 2 | 4月 | 4～9日 | 木～火 | 机いす塗装体験会 | (主催)真庭市 旧遷番尋常小学校で昭和初期に使われていた「機かしの机いす」を複製し、親子で塗装体験をする。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| | 4月 | 14日 | 日 | 岩垣正道版画展 | (主催)真庭市「真庭を彫る」と題し、岩垣正道氏の版画展を開催する。 | 鑑賞事業 | 共催 |
| 2 | 4月 | 19日 | 金 | 大林武司ピアノトリオ JAZZ | 大林武司さんは、広島県出身のジャズピアニスト。アメリカ音楽の最先端かつ最高の、名門音楽大学であるバークリー音楽院の出身。2016年にはジャズピアノの世界大会で、若手ジャズ・ピアニストの登竜門であるジャクソンビル・ジャズ・ピアノコンペディションにおいて、日本人として初の優勝を果たした。現在も、ニューヨークを拠点に活躍中。また、テレビ朝日報道ステーションのテーマソングを作曲演奏する等、その活動は多岐に渡る。今回、来日が決まり真庭市でもライブを開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 3 | 4月 | 29日 | 月・祝 | スタインウェイピアノ・リレーコンサート | 世界屈指のピアノ、スタインウェイ&サンズをだれでも弾いていただけるようにと企画したコンサートで、開館当初から人気のコンサートとなっている。毎年、県内外から約100人の参加があることから継続して開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 4 | 5月 | 3日 | 水・祝 | シネエスパ「ドラえもん」 | 年数回、映画の上映を開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 5 | 5月 | 5日 | 日 | 有森博ピアノリサイタル ロシアピアノリズムの系譜Vol. 14 「陰影の空間」 | 有森氏は、岡山県出身のピアニスト。ショパン国際コンクール最優秀演奏賞受賞、シドニー国際ピアノコンクール第4位、チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門入賞など受賞している。東京藝術大学准教授等務める。 毎年エスパスでは「ロシアピアノリズムの系譜シリーズ」の演奏会を開催している。普段耳にする機会の少ない曲で、東京と真庭市だけの貴重な演奏会となっている。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 6 | 5月 | 12日 | 日 | エスパス館内フリーマーケット | 開館当初から人気のフリーマーケットを開催する。多いときは、70区画以上の参加がある。普段施設に足を運ばない市民の方にも、気軽に楽しんでいただける賑わい事業として開催する。 | 賑わい事業 | 主催 |
| 7 | 5月 | 12日 | 日 | 空間コンサート | アマチュアに発表の場を提供することを目的に開催する。多くの方に観ていただけるように、来場者の多いワリマと同時開催にする。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 8 | 5月 | 25日 | 土 | 旧遷番講堂コンサート | 昨年、エスパスホールでCD録音とコンサートを開催したピアニストの佐野隆哉さん、ヴァイオリニストの相川麻里子さんを招き、旧遷番尋常小学校の講堂でコンサートを開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 9 | 6月 | 16日 | 日 | エスパス管弦楽団 第16回定期演奏会 | 管弦楽団の定期演奏会。エスパス管弦楽団は、本格的クラシックからポピュラーまで幅広く演奏し、クラシックファンへの拡大を目指す。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 10 | 6月 | 17日 | 月 | 小・中学生へのプレゼントコンサート | (共催)真庭市 久世地区の小学校・中学校の生徒に、プレゼントコンサートを開催する。子どもの頃から本格的ホールで鑑賞の経験を提供することで、文化レベルの向上に繋げる。岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会を小・中学生にプレゼントする。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 11 | 6月 | 18日 | 火 | 小・中学生へのプレゼントコンサート | (共催)真庭市 久世地区以外の小中学校が対象。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 12 | 6月 | 30日 | 日 | 夏彩和太鼓フェスティバル | (主催)夏彩和太鼓フェスティバル実行委員会 県北和太鼓団体の公演を共催事業として開催。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 13 | 7月 | 7日 | 日 | 第16回 県北合唱フェスティバル | (主催)岡山県北部合唱団協議会 県北の合唱団が一堂に会する発表会を共催事業として開催。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 14 | 7月 | 13日 | 土 | RUN FOR TOMORROW 東日本震災復興事業 | (主催)アコースティックバンド勇次 地元アコースティックバンド勇次を中心に、子どもダンスチーム等が出演。その収益金の一部を東日本震災復興のため寄付する。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 15 | 7月 | 25.26日 | 木・金 | 夏休み絵と歌をガンバリ隊 IN エスパス (久世公民館連携事業) | 財団20周年を期に始めた「地域貢献活動」の一環。小学生を対象とし、夏休みの宿題を応援する。今、小学校の音楽や、美術の授業時間が減少しており、元教員等に絵画の指導者をお願いし、子ども達へ絵の描き方を教えていただく。午後からは、財団の運営するオリジナルス(合唱団)のメンバーが子どもたちと一緒に、歌を作り、録音しオリジナルCDを作成する。2日開催予定。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 16 | 日程未定 | 未定 | 未定 | 第九合唱団員初心者向け講座 | エスパス混声合唱団の団員がこれまでの経験を活かし、初心者の方へ導入講座を行う。通常練習より前に開催し、第九の練習に入りやすいようにする。 | 育成事業 | 主催 |
| 17 | 8月 | 25日 | 土 | 岡フィル親子コンサート ～真庭市・岡山シンフォニーホール・財団3者連携事業～ | (共催)真庭市 真庭市と、岡山フィルハーモニック管弦楽団と、エスパスが連携して親子コンサートを開催する。 | 鑑賞事業 | 共催 |
| 18 | 9月 | 15日 | 日 | 宮坂流銭太鼓エスパス公演 | 宮坂流銭太鼓は昭和46年に津山市の宮坂身志氏によって創設。真庭市では、教室がはじめて約40年の歴史がある。現在は、日本全国に約2,800人の会員を擁し、全国大会では、「日本民謡舞踊大賞」で3回など数々の受賞歴を持っている。エスパス公演では、約100人が出演する豪華な舞台。敬老の日に合わせて9月に開催する。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 19 | 9月 | 29日 | 日 | 真庭ハンドメイドマルシェ | 手作り作品の展示・販売とワークショップ、飲食物の販売をマルシェ形式で開催。土広場、旧遷番小学校内、エスパスを使用する。真庭市最大級のハンドメイドイベントを銘打ってイベントを計画し、ハンドメイドに特化したイベントとする。交流定住センターが行っているやまびこフェスタとコラボする。 | 賑わい事業 | 主催 |

【H31年度 真庭市久世エスパスセンター実施事業計画書】

| 時期 | | | | 文化事業名 | 内容 | 種類 | 主催・共催の別 |
|----|------------------------------|--------|-----|---|--|---------|---------|
| 20 | 10月 | 3日 | 木 | たにぞう手遊び・歌遊びコンサート | 幼児向けコンサートを開催する。低料金に設定し、多く子ども達が参加しやすくする。市内の保育園・幼稚園は優先的に参加できるようにしている。今回11回目を迎える。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 21 | 10月 | 14日 | 月・祝 | ハートフルコンサート | (主催)津山バスターン研究会 市内外のピアノの先生方が開催。オーディションを受けた子どもたちが、ヴァイオリンやチェロなどとアンサンブルをする。 | 普及・支援事業 | 共催 |
| 22 | 11月 | 24日 | 日 | 瀧井敬子氏プロデュース 三宅理恵ソプラノリサイタル | 三宅理恵(ソプラノ)によるコンサートを開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 23 | 11月 | 25～27日 | 月 | 瀧井敬子氏プロデュース 三宅理恵(ソプラノ)のレコーディング | 瀧井氏は、元東京藝術大学特任教授、元くらしき作陽大学特任教授。若き音楽家を顕彰するために創設されたグラチア音楽賞の受賞者のCD録音。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 24 | 12月 | 未定 | 未定 | エスパス第九演奏会 | エスパスの第九演奏会は、合唱団もオーケストラも、第九を演奏したい人を募りみんなで創るコンサート。芸術文化を愛する方を支援し、協働することで、真庭市における芸術文化の普及と文化意識の高揚に繋がる公演となっており、引き続き開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 25 | 1月 | 5日 | 日 | シネエスパ「未定」 | 年数回、映画の上映を開催する。 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 26 | 1月 | 19日 | 日 | エスパスのど自慢2020 | 市民にエスパスのステージでカラオケを熱唱していただく企画。毎年、申し込みが多く出演者は抽選になっている。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 27 | 1月 | 26日 | 日 | エスパス管弦楽団 ニューイヤーコンサート2020 | 子どもリストを募集し、オーディションで選ばれた子ども達が管弦楽団と共演するという企画。新年にふさわしい曲を集めることはもちろん、エスパスでしかできない企画のニューイヤーコンサートとし、オーケストラの音色を存分に味わっていただけるものになっている。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 28 | 2月 | 16日 | 日 | Espace Fun Space festival ～音楽とダンスの祭典～ | アマチュアバンドやダンスグループ等と一緒に開催する。出演者も片づけや舞台転換などの運営にも携わる協働型コンサートにし、交流も深めている。また、屋台やフリーマーケットも出店し、幅広い世代に登場していただき、音楽を楽しんでもらえるように企画した。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 29 | 2月 | 23日 | 日 | エスパス館内フリーマーケット | 開館当初から人気のフリーマーケットを開催する。多いときは、70区画以上の参加がある。普段施設に足を運ばない市民の方にも、気軽に楽しんでいただける賑わい事業として開催する。 | 賑わい事業 | 主催 |
| 30 | 2月 | 23日 | 日 | 空間コンサート | アマチュアに発表の場を提供することを目的に年間3回をめぐりに企画する。多くの方に観ていただけるように、来場者の多いフリマと同時開催にする。ジャンルも様々で、今までに、バンド、フラダンス、創作ダンス、ギター演奏、歌などの発表があった。また、こういう活動が地域創造でも評価された。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 31 | 2月 | 29日 | 土 | エスパスオリジナルフェスタ2020 | 3歳から幼稚園までの幼児を対象とした、ヴァイオリン、歌、和太鼓を体験できるワークショップを開催する。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| | 3月 | 1日 | 日 | エスパスオリジナルフェスタ2020 | 小学生からを対象とした、ヴァイオリン、コントラバス、合唱、和太鼓を全て体験できるワークショップ。最後にコンサートを開催する。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 32 | 3月 | 8日 | 日 | エスパス合唱団第18回定期演奏会 | エスパス合唱団は、市民の声にこたえるため、当財団が運営する市民合唱団として始まった。少年少女合唱団と混声合唱団があり、定期演奏会を年1回開催している。毎回、アイデアを出し合い趣向を凝らしている。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 33 | 3月 | 22日 | 日 | 早川太鼓エスパスの陣・式拾式 | 早川太鼓は、真庭市の久世地域を中心に活動している和太鼓グループ。過去に、岡山市や倉敷市、真庭市各地で公演を開催し、岡山県代表で「日印交流年」ムンバイ・フェスティバルの閉会式で公演するなど意欲的に活動している。演奏会は、その活動を支援することを目的に開催している。公演にはエスパスが主宰している和太鼓クラブ(早川太鼓指導)も出演する。 | 普及・支援事業 | 主催 |
| 34 | 7月 | 21日 | 日 | 宝くじ地域の芸術環境づくり助成事業 TUKEMEN | 未定 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 35 | 日程未定 | 未定 | 未定 | 中高年層向けコンサート | 未定 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 36 | 日程未定 | 未定 | 未定 | 野外ライブ | 未定 | 鑑賞事業 | 主催 |
| 37 | 日程未定 | 未定 | 未定 | 平成31年度 地域の文化・芸術活動助成事業 研修プログラム (一財)地域創造助成事業 4回開催 | 地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用の推進等を図り、さらに、地方公共団体の共同事業として、その成果を広く還元するとともに、文化・芸術の振興により創造性豊かな地域づくりの推進を図ることを目的としている。研修プログラムは、公立文化施設等の企画・運営に携わる者及び「地域文化コーディネーター」など地域の文化・芸術活動を担う者のスキルの向上、ノウハウの習得などを旨とする、地方公共団体等が自ら主体的に企画・実施する実践的な人材育成事業。 | 育成事業 | 主催 |
| | 4月 5月 6月 10月 11月 | | 土日祝 | なつかしの学校給食 | 国の重要文化財旧遷番尋常小学校を使用し学校給食を食べる企画。個人は4月～6月・10月～11月の土・日・祝日のみ受付、ツアー会社の申込みは通年で平日でも可。市内はもちろん県内、県外からも申込みがあるイベント。応援として地元久世の店主、元学校給食の調理員の方のグループ、まにワッショイの協力を得て開催する。 | | 主催 |

3. 真庭市久世図書館部門

真庭市の図書館で保管する資料をより有意義に活用していくため、今まで図書館を活用していない方にご利用いただくきっかけとなる事業を継続し発展させていくため、書籍紹介コーナーの充実・主催事業の参加から図書館利用へと繋ぐ活動を充実させます。

＜真庭市立久世図書館のビジョン＞

- ① 子どもの読書習慣の醸成や読書の楽しさ、有用性の浸透の推進に取り組み、本の香りのする真庭を目指します。
- ② 学習拠点としての機能の強化と市民の潜在能力の発掘に取り組みます。
- ③ 学校等との連絡を強化し、子供の頃から読書習慣が身につくように導きます。
- ④ 図書館が実施する事業を通じて「らしさ」を大切にしながら市民に親しまれ、愛される図書館であり続けます。

公4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業

本事業は、真庭市において、図書、雑誌、記録、視聴覚資料その他必要な資料を収集、保管して利用者の閲覧に供し、もって教育と文化の発展に寄与することを目的とする事業です。

1. 事業の構成

- (1) 図書館運営事業

2. 事業の内容

(1) 図書館運営事業

ア. 資料の収集保存（久世図書館①、④）

利用者の「読みたい」「知りたい」「調べたい」という知的欲求に応える開かれた場として、幼児から高齢者まですべての人の生涯学習の場として、資料の収集、保存と提供に努めるとともに、読書環境の整備に努めます。また、個人情報管理に努め適正に取り扱います。

図書・CD・DVDの傷みにつきましても、職員が修復を施し少しでも長くお客様に提供できるようにします。痛みの激しい資料や保存不要な資料については除籍処分をし、書架の整理に努めます。

イ. 主催事業（久世図書館①、②、④）

昨年度までの活動に加え、図書館と地域が協働して企画し開催する事業に力を入れます。そして学習拠点としての機能向上・市民の潜在能力の発掘に取り組みます。

| 実施回数 | 内容 |
|------|----------------------|
| 週1回 | おはなし会ぼかぼかえほんぼこ(乳幼児向) |
| 週1回 | おはなし会おはなし列車(幼・小向) |
| 週2回 | 絵本よみきかせボランティア |
| 月1回 | 蔵書整理ボランティア |
| 月1回 | 久世地区内園小中学校配本 |
| 月1回 | やってみよう！どうぶつしょうぎ |
| 年4回 | 名画鑑賞会(映画上映) |
| 年1回 | 図書館ビンゴ(真庭市立図書館全体行事) |
| 年1回 | きいてほっこり昔語り(昔語り発表会) |
| 年1回 | 絵本を作ろう！(工作) |



おはなし列車

| | |
|---------|----------------------------|
| 年 1 回 | ビブリオバトル(書評発表会) |
| 夏休み 1 回 | 謎の覆面ブックスあらわる！(真庭市立図書館全体行事) |
| 夏休み 5 回 | 体験！夏休み図書館ボランティア(蔵書整理) |
| 年 1 回 | 講演会 |
| 年 1 回 | 謎解きを図書館で…(真庭市立図書館全体行事) |
| 年 1 回 | クリスマスカードを作ろう！(工作) |
| 年 1 回 | ブックじ(真庭市立図書館全体行事) |
| 年 1 回 | 百人一首大会 |
| 年 1 回 | どうぶつしょうぎ大会 |



覆面ブックスあらわる！

ウ. 協力事業 (久世図書館②、④)

「読書会有志の会」「『源氏物語』有志の会」主催の読書会に、それぞれ毎月 1 回、図書館お話し室を利用させていただき予定であり、他の団体にもご利用いただけるよう活動していきます。

エ. 地区館としての活動 (久世図書館①、②、④)

市内 7 か所の図書館が協力し、資料の相互利用をより推進するとともに、サービスの向上に取り組めます。県立図書館の協力支援や岡山県図書館間相互貸借システムを活用し、多様な情報社会に即したサービスの充実に努めます。また、地区館として地域の方の利用を促進するため、久世地区在住の方に参加していただく行事等を開催していきます。

オ. 他施設との連携 (久世図書館①、③)

久世図書館だけでなく、館外にも読書拠点を作っていただけるよう、学校図書館、教育機関、その他の施設とのさらなる連携を図ります。その一環として今年度も久世地区内の保育園、幼稚園、小中学校への配本、市内学校やボランティア団体への団体貸出しを実施し児童の読書意欲と読書習慣の形成を図ります。また、読書ボランティアを市内の保育園、幼稚園、小学校に派遣し読み聞かせ活動を行います。

市内の小中学校をはじめ各種団体の施設見学等を受け入れ、中学校・高等学校の職場体験学習にも協力します。

カ. 職員の研修業務 (久世図書館②)

岡山県立図書館での研修に加え、県内外の図書館を引き続き視察し、図書館職員として必要な知識・技術を高め、サービスの向上を目指します。

避難訓練を年 2 回、AED 講習を年 1 回行い、緊急時に迅速に対応できるように備えます。また、応急処置などの研修も行うなどして安全管理に努めます。

キ. 利用者の意見反映に関すること (久世図書館④)

お客様からご意見をいただく「おたよりボックス」設置や、行事後の参加者アンケート等を今年度も実施していきます。ボランティア参加者の声を聴く会も引き続き開催して、幅広いニーズに応えていきます。

ク. 広報活動に関すること (久世図書館②)

図書館だより「まなぶ〜る」を毎月発行し市内各世帯に回覧するとともに、市内施設や学校にも行事ポスターと共に配布します。また、ホームページや facebook・告知放送・新聞等で随時情報提供を行います。広報まにわや真庭市立図書館だより、エスパス広報紙や真庭いきいきテレビを通じて新着図書案内・行事案内をしていきます。